

令和 7 年 12 月 22 日
気象庁 大気海洋部

配信資料に関するお知らせ

～配信資料に関する技術情報第 634 号の改訂について～ (配信資料に関する技術情報第 634 号関連)

標記関連技術情報における別紙に関して、以下の通り内容を改訂しますので、お知らせいたします。

【改訂履歴】

● 令和 7 年 12 月 22 日

報道発表用資料に合わせ、本文及び別紙冒頭の記載内容を更新。
指定河川洪水予報について、洪水予報の種類の読み替えが必要としていた方針を、
電文内に新たな名称を記載する方針に変更。また、同情報で提供しない河川及び氾
濫の種類に関する情報提供方法について具体的に補足。

令和 6 年 10 月 31 日
令和 6 年 12 月 26 日改訂
令和 7 年 3 月 18 日改訂
令和 7 年 6 月 30 日改訂
令和 7 年 9 月 26 日改訂
令和 7 年 12 月 22 日改訂
気象庁大気海洋部

配信資料に関する技術情報第 634 号

～体系整理を踏まえた気象警報・解説情報 XML 電文の改善について～

気象警報・注意報や気象情報およびこれらに関連する各種情報について、令和 8 年度出水期から、より ~~シンプルで~~ わかりやすい形式での提供を開始する予定です。
こちらに伴い、別紙のとおり、新規 XML 電文の配信を計画しておりますので、お知らせいたします。

なお、これら XML 電文の詳細については、「気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(<https://xml.kishou.go.jp/index.html>)において関連資料を提供いたしますので、そちらをご参照ください。

また、配信に関する詳細なスケジュールについては、決まり次第お知らせいたします。

体系整理を踏まえた気象警報・解説情報 XML 電文の改善について

気象庁では運用中の各種防災気象情報について適宜見直しをおこなっており、その結果として個々の情報の高度化や各市町村の防災対応支援の強化に一定の効果はありましたが、一方で情報数の増加や運用の複雑化等の問題も生じました。また、令和元年から導入された「警戒レベル」についても、その警戒レベルに応じて、これに相当する防災気象情報の発表を主体的におこなう機関や、発表の基準が異なる等の課題がありました。

このような状況から、~~シンプルでより~~わかりやすい防災気象情報の提供に向けた、これら情報全体の体系整理と個々の情報の見直し、及び受け手側の立場に立った情報への改善等のため、令和4年1月から令和6年6月にかけて「防災気象情報に関する検討会」を開催し、検討をおこないました。こちらの結果を踏まえ、今後次のように既存の情報の集約と新規電文の提供を予定しています。

1. 新たな気象警報・注意報等 XML について

現行の気象警報・注意報（VPWW54）、土砂災害警戒情報（VXWW50）、警報級の可能性（明日まで）（VPFD60）の内容をもとに、これらを再構成した新規電文を提供します。

提供する予定の電文は次の通りです。

役割	データ種類コード	情報名
警報・注意報等の発表（変更）と警戒・注意事項	VPWW55	気象警報・注意報（R06）（大雨）
	VPWW56	気象警報・注意報（R06）（土砂）
	VPWW57	気象警報・注意報（R06）（高潮）
	VPWW58	気象警報・注意報（R06）（暴風）
	VPWW59	気象警報・注意報（R06）（波浪）
	VPWW60	気象警報・注意報（R06）（大雪）
	VPWW61	気象警報・注意報（R06） (その他注意報)
	VPFD61	早期注意情報（明後日まで）
各警報・注意報要素の今後の見通し	VPWP50	気象警報・注意報時系列情報（R06）
警報・注意報等の全要素の発表状況	VPWS50	気象警報・注意報（R06） (集約通報)

○大雨、土砂災害（※土砂災害警戒情報と統合）、高潮、暴風（暴風雪を含む）、波浪、大雪に関する警報・注意報は、それぞれ独自のデータ種類コードを持った個々の新規電文とします。また、これ以外の注意報に関する情報をまとめ、単一の新規電文とします。

○大雨、土砂災害、高潮、暴風（暴風雪を含む）、波浪、大雪の各警報に関する早期注意情報の「警報級の可能性」のみからなる明後日までの時系列データを提供します。

○既存の気象警報・注意報（VPWW54）に含まれる時系列情報と早期注意情報の量的な見積もりを整理統合して見直し、今後の量的な見積もりを定常的に提供する電文を新たに設けます。

○気象警報・注意報の電文の分割に伴い、VPWWii (ii=55～61)により通知された内容を全要素集約した情報を高頻度で定常的に通報する電文を新たに設けます。

○既存の気象警報・注意報（VPWW54）で実施していた特別警報・危険警報・警報への切替の可能性の予告については、その役割を VPWP50 に集約することとし、VPWWii (ii=55～61)では提供しません。

2. 新たな洪水関連の電文について

洪水に関する情報は、氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象として、河川ごとに発表するものとします。これに伴い、既存の洪水予報河川に関する電文に加えて、新たに水位周知河川を対象とした新規の洪水関連 XML 電文を提供します。

情報名	データ種類コード
指定河川洪水予報	VXKOii (ii=50～89) (※1)
水位周知河川に関する情報	VXSUii (ii=50～59) (※2)

(※1) ~~洪水予報の種類の読み替えが必要になります。また、将来的には新形式電文での提供を検討しています。~~

こちらは決まり次第お知らせします。

(※2) 提供開始時期は未定です。決まり次第お知らせいたします。

指定河川洪水予報は当面の間、従来の XML 電文による提供を継続しますが、電文内の洪水予報の種類名を次の通り更新します。

変更前	変更後
氾濫発生情報	レベル5 気象特別警報 又は レベル5 気象特別警報（氾濫水の予報）
気象危険情報	レベル4 気象危険警報
気象警戒情報	レベル3 気象警報
気象注意情報 又は 気象注意情報（警戒情報解除）	レベル2 気象注意報 又は レベル2 気象注意報（警報解除）

なお、洪水予報河川又は水位周知河川に関する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）及びこれら以外の河川の洪水に関する情報は、1. の大雨警報・注意報に含めるものとしましてにおいて発表対象地域内の河川の氾濫に対する注意警戒を促す形として提供します。一方、これらの河川の氾濫の危険性が高まっている具体的な地域に関する情報は、引き続き洪水キックルにより提供します。

3. 新たな気象解説情報 XML 電文及び図情報について

これまでに発信していた各種気象情報について、具体的な極端現象（線状降水帯、記録的な短時間の大雨など）が発生又は発生しつつある際にその旨を伝える「気象防災速報」と、現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える「気象解説情報」に大別し、統一的な情報名称とします。

加えて、これらの電文の内容を構造化し、情報分類や気象要素とその値、地域、時間等を簡単に抽出できるようにします。

次の表に、今後提供する予定の電文及び図情報と、整理にあたってそれぞれに集約した現行の情報の関係を示します。

なお図形式の情報のうち、全般気象解説情報については、既存の全般気象情報のファイル名をそのまま引き継いで運用します。また同様に、地方気象解説情報及び府県気象解説情報についても、対応する既存の情報のファイル名を引き継ぐものとします。

データ種類コード、 又はファイル名	情報名	統合前の情報の データ種類コードなど
VPBS50(新規)	府県気象防災速報	VPOA50(記録的短時間大雨情報)、 VPFJ50(府県気象情報(極端現象に関する速報的な情報))

VPBS51(新規) (※3)	府県気象防災速報（潮位）	VMCJ52 (府県潮位情報(極端現象に関する速報的な情報))
VPZJ51(新規)	全般気象解説情報	VPZJ50（全般気象情報）、 VPTI50、VPTI51（全般台風情報の内容の一部）
VPCJ51(新規)	地方気象解説情報	VPCJ50（地方気象情報）
VPFJ51(新規)	府県気象解説情報	VPFJ50（府県気象情報）
VMCJ53(新規)	全般気象解説情報（潮位）	VMCJ50（全般潮位情報）
VMCJ54(新規)	地方気象解説情報（潮位）	VMCJ51（地方潮位情報）
VMCJ55(新規)	府県気象解説情報（潮位）	VMCJ52（府県潮位情報）
Z__J_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jzenkoku_NJ*_image.pdf	全般気象解説情報（図形式）	Z__J_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jtypjoho_NTCCC_NTYttt_NDCii_NJnnn@@@_image.pdf（全般台風情報（図形式））、 全般気象情報（図形式） (※4)
Z__J_CCCC_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jchihou_NJ*_image.pdf	地方気象解説情報（図形式）	地方気象情報（図形式） (※4)
Z__J_CCCC_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jfukeln_NJ*_image.pdf	府県気象解説情報（図形式）	府県気象情報（図形式） (※4)

(※3) 提供開始時期は未定です。決まり次第お知らせいたします。

(※4) 「データ種類コード、又はファイル名」の欄に記載されているものと同一のため、ここではファイル名の記載を省略しています。

4. 既存電文の並行配信

(1) 移行措置プロダクトとなる情報

以下の電文形式及びファイル形式の情報は、移行措置プロダクトとして、新規電文の運用開始後2年程度の間、並行配信をおこなう予定です。このため、利用システムの改修・更新等の機会をとらえ、新規電文の利用への移行をお願いしま

す。

このほか、新規電文との内容の整合のため、VPWW53、VPWW54 及び VXWW50 の記載内容を一部変更します。

情報名	データ種類コード、又はファイル名
気象警報・注意報	VPWW53、VPWW54
警報級の可能性（明日まで）	VPFD60
気象特別警報報知	VPN050
土砂災害警戒情報	VXWW50
土砂災害警戒情報(PDF 形式)	Z__C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_INF _CHT_Jdosha_RP##@_comp. pdf
記録的短時間大雨情報	VPOA50
全般気象情報	VPZJ50
地方気象情報	VPCJ50
府県気象情報	VPFJ50
全般気象情報（潮位）	VMCJ50
地方気象情報（潮位）	VMCJ51
府県気象情報（潮位）	VMCJ52

（2）運用を終了する情報

以下の電文形式及びファイル形式の情報については、新電文の運用開始をもって終了とする予定です。なお、全般台風情報（総合情報、上陸等情報）及び全般台風情報（位置、発生情報）の内容の一部は、全般気象解説情報と同様に、全般気象情報の移行措置の電文でも取り扱います。

情報名	データ種類コード、又はファイル名
全般台風情報 (総合情報、上陸等情報)	VPTI50
全般台風情報 (位置、発生情報)	VPTI51
全般台風情報（位置詳細）	VPTI52
大雨危険度通知	VPRN50
全般台風情報（図形式）	Z__J_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jtypjoho _NTCcccc_NTYttt_NDCii_Njnnn@@@_image. pdf
府県潮位情報（図形式）	Z__J_CCCC_yyyyMMddhhmmss_TID_INF_Jfchoui _NJ###@@@_image. pdf

(3) 内容を変更して運用を継続する情報

以下の電文形式及びファイル形式の情報について、新規電文の運用開始に併せ内容を変更する予定です。

情報名	データ種類コード、又はファイル名 (変更内容)
竜巻注意情報	<p>VPHW50、VPHW51 ※ヘッダ部の標題(Head/Title)を以下のとおり変更(先頭の都道府県名等は従来通り付加) 旧：「竜巻注意情報」 新： (目撃情報がない場合) 「気象防災速報（竜巻注意）」 (目撃情報がある場合) 「気象防災速報（竜巻目撃）」</p>
警報級の可能性（明後日以降）	<p>VPFW60 ※ヘッダ部の標題(Head/Title)を「早期注意情報（明々後日以降）」へ変更</p>
市町村を対象とした気象警報・注意報の表形式PDFファイル	<p>Z_J_CCCC_yyyyMMddhhmmss_MET_INF _Jwarn00_NJ###@@@_image.pdf ※表示内容を新規電文の形式に沿う形で修正</p>

5. サンプルデータの提供

XML 電文について、「気象防災情報 XML フォーマット情報提供ページ」(<https://xml.kishou.go.jp/>)においてサンプルデータを提供します。

【改訂履歴】

●令和6年12月26日

新規電文との内容の整合のため、VPWW54の記載内容を一部変更する旨を追記

●令和7年3月18日

VPWWii(ii=55～61)では、特別警報・危険警報・警報への切替予告を提供しない旨を追記。

●令和7年6月30日

指定河川洪水予報について、洪水予報の種類の読み替えが必要となる旨を追記。
水位周知河川に関する情報及び気象防災速報（潮位）の提供開始時期が未定となった旨を追記。

新規電文との内容の整合のため、記載内容を一部変更する電文の種類を追加。

新規電文の運用開始をもって提供を終了する電文の種類を追加。

運用を終了する全般台風情報の内容の一部を、全般気象情報の移行措置電文で取り扱う旨を補足。

竜巻注意情報の運用変更内容を更新。

●令和7年9月26日

「3. 新たな気象解説情報 XML 電文及び図情報について」のセクション名及び本文中の記載について、図情報も含めた形に変更。

（全般／地方／府県）気象解説情報（図形式）のファイル名は、既存の（全般／地方／府県）気象情報（図形式）のものを引き継ぐ旨を補足。

全般気象解説情報（図形式）のファイル名の誤りを修正。

その他、「又は」の表記を統一。

●令和7年12月22日

報道発表用資料に合わせ、本文及び別紙冒頭の記載内容を更新。

指定河川洪水予報について、洪水予報の種類の読み替えが必要としていた方針を、電文内に新たな名称を記載する方針に変更。また、同情報で提供しない河川及び氾濫の種類に関する情報提供方法について具体的に補足。